

# 農業体験農園基本方針

有限会社 援農甲立ファーム

平成31年3月1日策定

## はじめに

今日、農家の高齢化、遊休農地の増加など、農業の衰退が懸念されるなかで、人々のライフスタイルは多様化し、農業をやってみたい、自然にふれ気持ちのいい汗を流してみたいといった人が増えているように思われます。

一方、農業の経営は、これまでのように、コツコツと野菜を作っていくという慣行型の農業では将来性は望めない状況にあり、6次産業化への進出など新しい農業のあり方を模索し果敢に挑戦していくことが求められています。

このような社会の動向や農業を取り巻く環境変化に対応し、弊社では、既存の野菜作りを一層強化していくとともに、新たに6次産業化に着手するなど、農業の基盤強化や多角化を目指します。

その一環として、今年度から、農業体験農園（以下「農園」という。）を開設することとし、農園の開設日（以下「体験会」という。）に多くの参加者を得て、多品目の新鮮な野菜づくりを行うとともに、その農作業を通じて、野菜づくりに関心を持つ人を増やし農業への関心度を高めるなど、農業の普及にも貢献して参りたいと考えています。

このようなことから、ここに、農園を開設し運営にするにあたり、必要となる基本方針を定めます。

なお、この基本方針は、平成31年度の運営を念頭に置いたものであり、翌年度以降の基本方針は、必要に応じて修正し定めるものとします。

## 記

### 1 農園開設の目的

農園開設の初期の目的としては、新に6次産業化にチャレンジとする会社の広報とイメージの向上を目指します。

中長期の目的としては、新たな6次産業化の柱の一つとして実施していくことを目指します。

併せて、参加者との交流やネットワークづくり、参加者相互や参加者と地域との交流の輪が広がることなどを通じて、まちの活気を盛り上げることに貢献していきたいと考えています。

### 2 農園が参加者へ提供するサービスの視点

農園が参加者お一人々に提供しようとするサービスは、つらいイメージのある農作業を、レクリエーション感覚で気軽に楽しんでもらうことのできる農業体験の提供を目指しています。

その結果、楽しみながら、自分の手で野菜を作れることができた感動、その確かな実感、収穫した野菜のおいしさ、といったものを存分に味わっていただき、本農園に参加してよかったと思

っていただけるように運営していきたいと考えています。

参加者のそうした感動や経験を通じて、もっといい野菜をつくってみたい、もっと他の野菜も作ってみたいといった気持ちが芽生え、意欲的に農業について勉強したいという人が増えることを目指します。

### 3 農園の運営

#### (1) 耕作地の区画

耕作地の区画としては、参加者一人当たり約30㎡の区画を設けます。

その一人当たりの区画とは別に、だれでも自由に耕作できる共通の畝を状況に応じて設けます。

#### (2) 収穫した野菜の持ち帰り

参加者は、体験会当日、参加者一人ずつに割り振られた区画内と共通の畝において収穫できた野菜を持ち帰ることができます。

#### (3) 野菜の作付け計画

春から秋にかけての1シーズン当たり、20品目前後の野菜を栽培します。

その栽培結果、スキルアップと参加者の意欲のもと、状況に応じて、品目を増やします。

#### (4) 農薬・肥料の取扱い

農薬は使用をできるだけ控えて減農薬に努めるとともに、肥料は、有機肥料を主として栽培します。

### 4 農園の開設時期

初年度の本年の開園は、5月中旬～12月下旬までとします。

次年度以降の開園は、3月中旬～12月下旬までを目標とします。

### 5 農園の形態と開催内容

#### (1) 農園の形態

本農園は次のとおり開催します。

- ①農作業を実際に行う体験会
- ②野菜作りに必要となる知識や作業方法などを学ぶ講習会
- ③収穫祭や季節的な催し等のイベント

#### (2) 農園の開催内容

本農園の開催内容は次のとおりです。

- ①体験会は、開催中、原則月2回（第2、第4日曜日の午前中）開催します。

開催時間は、9時～12時まで（休憩時間15分含）。

ただし、夏時間の開催時間は、7時～10時まで（ 〃 ）。

- ②講習会は、必要に応じて体験会の始めの時間帯などに設けます。

③イベントは、体験会当日に数回行います。

## 6 参加者の枠の設定と参加決定

### (1) 初年度の枠

初年度の参加者の枠は20組とし、その1組当たりの人数は1人～4人までとします。

家族連れやグループなどの複数人での参加申込みは、1組とします。

小学生以下の参加には保護者の方の同伴を必須とします。

### (2) 参加者の募集と決定

参加者は一般広告して募集し、参加者の決定は抽選とします。

### (3) 次年度以降の枠

次年度以降の参加者の枠は、状況に応じて増加します。

## 7 参加費の設定

初年度の参加費は、1組、1月当たり 3,000円とし、一括支払いとします。

なお、翌年度以降の参加費は、3,000円を超えて設定することもあります。

## 8 イベントの開催

参加者を決定する抽選の結果ご参加いただけなかった方には、農園で作った野菜の収穫祭、田植えや稲刈り体験など、農作業の体験会や多彩なイベントを年数回開催し、ご参加いただけるよう案内します。このように、体験農園の参加者だけでなく、農業に関心をもつ方々とも交流の輪が広がるように計画していきます。